

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4) 評価実施年度	平成 21 年度
(5) 評価責任者職名	企画振興部長
(6) 評価責任者氏名	堂山 敏夫
(7) 評価者	伊賀支所長、青山支所長

(1) 政策	コード 15	名称 (2) 生涯を通じて生きがいを持つまちづくり
(2) 基本施策	コード 35	名称 ③文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む
(3) 生活課題	35	豊かな文化・芸術に触れることができる

(9) 継続・新規 (21,22,23,24)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) H22投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果						2次評価												
					H20 決算額	H21 予算額・ 補正要求額	H22 要求 見込額	人	人件費	(14) 指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性	(25) 1次 評価 修正 有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて	(33) その他の改革 改善点について	
											(15) 20年度 (実績)	(16) 22年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性												
継続	116-2	文化振興一般経費(市民管弦楽 団運営補助事業)	40200	企画振興部文 化国際課	0	300	200	0.1	720	演奏会入場者 数	720	700	人	I	4	4	4	4	4	A	現状維持	有	方向性の現状維持 を縮小の変更す る。	寄付金の範囲内 で補助している が、補助目的が 達成されつつ ある。			4G	d		制度のあり方の検討 を要する。
継続	117-1	美術展覧会運営経費(市民美術 展覧会)	40200	企画振興部文 化国際課	791	805	805	0.3	2,160	出品者数	151	180	人	I	4	3	4	3	A	現状維持					2G	b		市内全域からの応募 となるよう取り組 みを進める。		
継続	117-2	美術展覧会推進経費(子ども文 化フェスティバル)	40200	企画振興部文 化国際課	808	750	750	0.1	720	参加者数	1400	1100	人	I	4	4	4	3	A	現状維持					2G	b				
継続	118	文化祭開催経費	40200	企画振興部文 化国際課	2,140	2,133	2,133	0.2	1,440	参加団体数	88	100	団体	I	3	3	4	3	C	現状維持	有	方向性の現状維持 を変更に修正す る。	市内全域からの参加 による文化祭とな るよう、運営組織 等の検討を進める。			3G	c	会場使用料などコス トの削減を図る。	市内全域からの参加 による事業展開を 図る。	
継続	119	先賢顕彰費	550100	伊賀支所総務 振興課	291	245	245	0.0	72	横光利一顕彰 事業参加者数	85	85	人	I	4	3	4	3	A	現状維持					4G	c	横光公園の維持管 理を除き事業コス トの削減を図る。			
継続	124	俳句のくにづくり拠点施設建設 事業	40200	企画振興部文 化国際課	6,780	1,974	3,600	0.3	2,160	検討委員会の 開催回数	6	5	回	I	4	4	3	4	A	現状維持					1G	b	重点事業として充 実を図る。			
継続	125	芭蕉祭執行等経費	40200	企画振興部文 化国際課	9,865	9,960	9,960	0.6	4,320	芭蕉翁献詠俳 句投句数	43614	45000	句	I	4	2	3	3	C	変更					1G	b		業務内容やいたく 内容の整理、見直 しを行う。		
継続	126	しぐれ忌執行等経費	40200	企画振興部文 化国際課	316	315	315	0.1	720	参加者数	210	250	人	I	4	3	3	4	A	現状維持					2G	f		将来的に顕彰事業 は芭蕉祭に統合す る方向で検討を進 める。		
22新規	2203	俳句のくにづくり拠点施設建設 事業	40200	企画振興部文 化国際課	0	0	20,000	0.0	0	施設の利用者 数			人	II	4	4		4	A						1G	a	重点事業として整 備を進める。			
22新規	2230	アーティスト・イン・レジデンス事 業	750100	青山支所総務 振興課	0	0	8,000	0.3	2,160	参加者数	—	1700	人	I	3	4		3	A						3G	c	コストを削減する。			